

日本労働年鑑 第59集 1989年版

The Labour Year Book of Japan 1989

第三部 労働組合の組織と運動

II 労働組合全国組織の動向

2 総評

5 政党との関係と選挙へのとりくみ

周知のように総評は、日本社会党との密接な支持・協力関係を持ってきた。八八年度運動方針では、「これまでどおり社会党との支持協力関係を維持し、自民党に代わる野党連合政権をも展望しつつ選挙闘争に臨む」とした。これに関連し、真柄事務局長は一月一〇日の社会党員協議会単産委員長・書記長会議で、「総評としては、『反自民・非共産』の野党結集をポイントにした選挙協力の方策を考えるべきだ」と発言した。これまで総評が「反自民・非共産」という表現で政治路線を打ち出したことはなく、その意味で一步踏みこんだものであった。

また、今後の関係については、運動方針は「労戦統一後も当面『総評センター』を通じて社会党との関係維持につとめる」とし、「『社会党を支持し強める会』については各単産団体加盟により中央、地方での結びつきを強化して、よりいっそうの発展をはかる」とした。

なお、総評議員団(大原享団長)は、衆議院五三名、参議院三〇名の計八三名を擁している。

日本労働年鑑 第59集

発行 1989年6月26日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2000年2月22日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑第59集【目次】 次のページ→ ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)